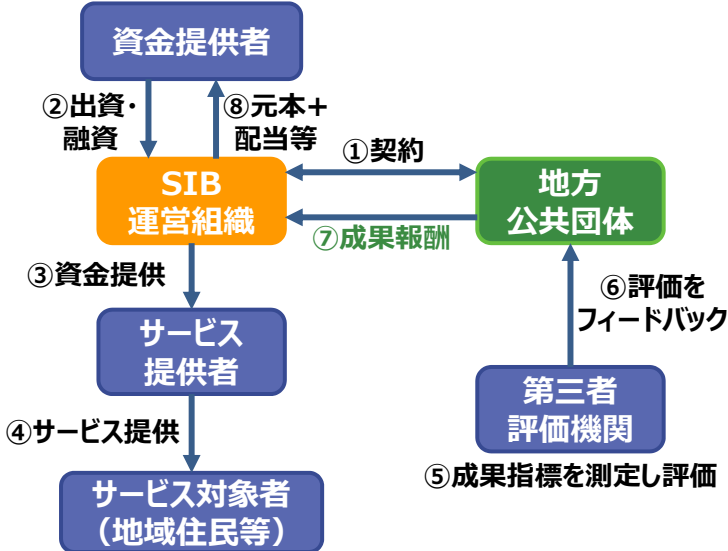


# 1. ソーシャル・インパクト・ボンドについて

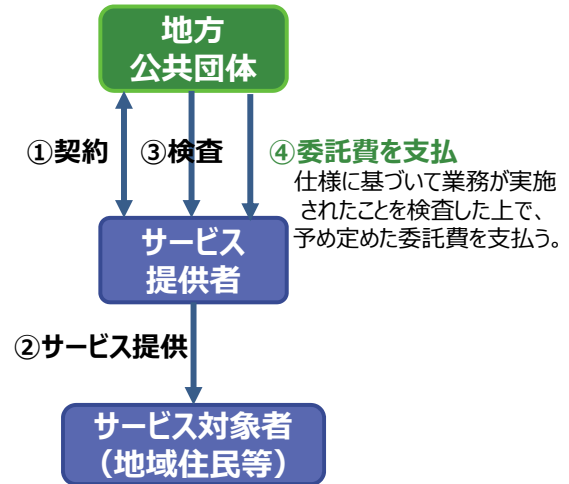
## 1. SIBの概要

- SIBとは、民間資金を活用して社会課題解決型の事業を実施し、その成果に応じて地方公共団体が対価を支払うスキーム。

【SIBの一般的なスキーム】



【参考：委託スキーム】



※上記のSIBスキームは一例である。事業によって、SIB運営組織、資金提供者、第三者評価機関を置かない場合や、設置する場合においても組織形態や役割等が異なることに留意が必要である。

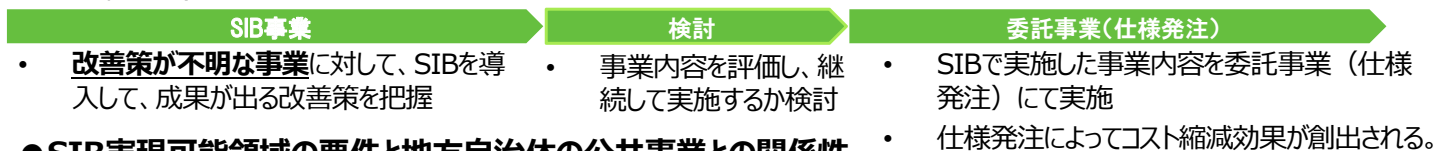
出典：経済産業省「地方公共団体向けヘルスケア領域におけるソーシャルインパクトボンド導入ノウハウ集」

## 1. SIBの概要

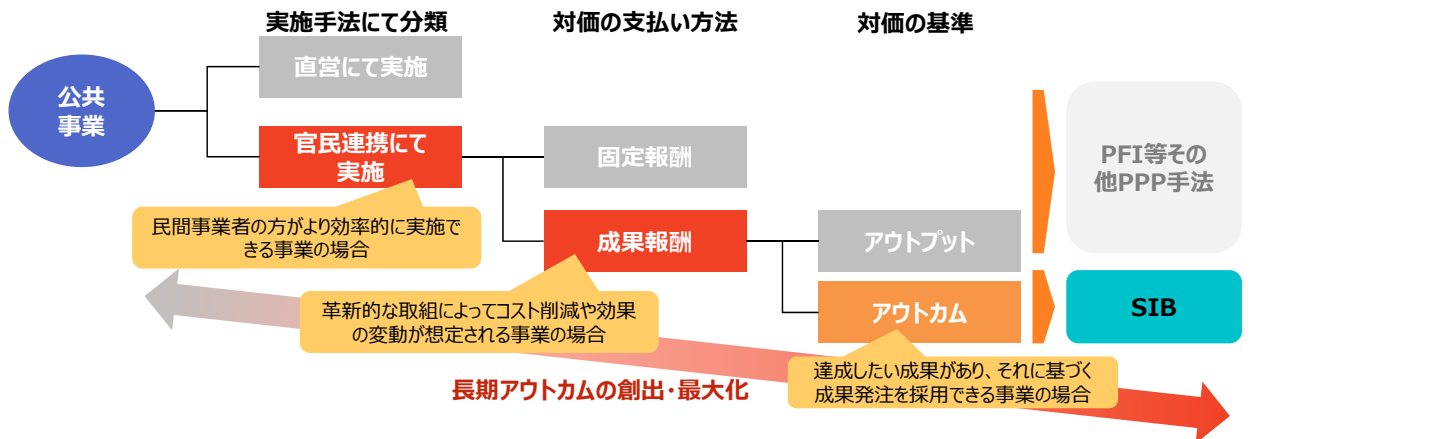
- SIBは、これまでの官民連携手法とは事業目的、事業スキームが異なる手法

### ●SIBの位置づけ

- SIBは効果がまだ証明されていない事業を実施する際に有効。（例：糖尿病性腎症重症化予防、がん検診受診率向上事業）
- SIB事業終了後、成果の達成度や事業内容を評価した上で、改善策として有効であり継続して実施する意向があれば、委託事業等（仕様発注）にて実施。



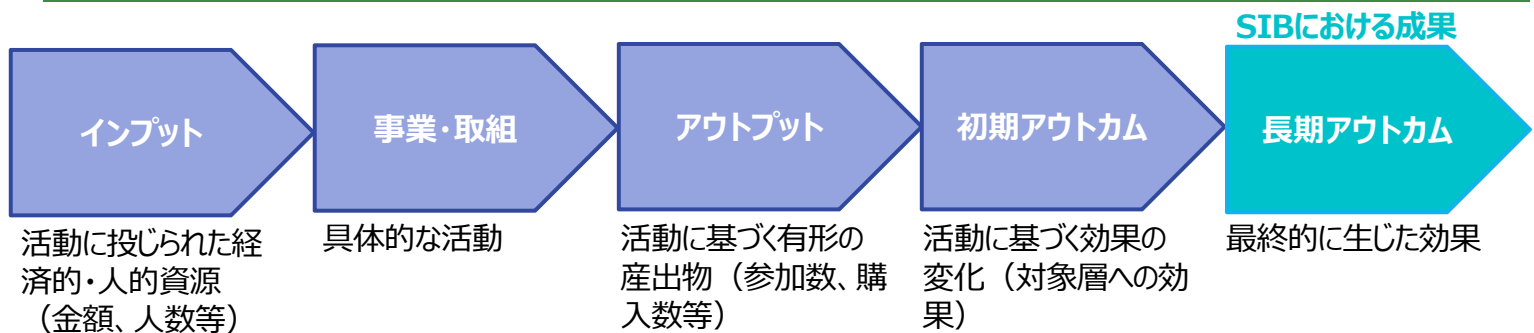
### ●SIB実現可能領域の要件と地方自治体の公共事業との関係性



出典：経済産業省「地方公共団体向けヘルスケア領域におけるソーシャルインパクトボンド導入ノウハウ集」

# 1. SIBの概要

- SIB事業の目的は、長期アウトカム（SIBにおける成果）の創出・最大化。



出所：社会的インパクト評価に関する調査研究最終報告書（内閣府）をもとに作成

(事例) 神戸市・八王子市事業が目指す成果（長期アウトカム）

①神戸市における糖尿病性腎症等の重症化予防事業

市民のQOLの向上

治療にかかる医療費の適正化

死亡したり、通院・入院したりすることで、労働ができないことによる逸失所得の削減

②八王子市における大腸がん検診受診率・精密検査受診率向上事業

がんによる死亡率の減少

がんの5年生存率向上

がんの医療費の適正化

がん患者のQOLの向上

出典：経済産業省「地方公共団体向けヘルスケア領域におけるソーシャルインパクトボンド導入ノウハウ集」

# 1. SIBの概要

## Social Impact Bond（SIB）

- 行政は社会課題の解決を民間事業者に発注
- 民間事業者は自らのノウハウと資金で社会課題解決に資する取組みを実施
- 行政は、民間事業者の取組みが社会課題を解決したことを確認して、報酬を支払う
- 社会課題解決という「成果（アウトカム）」に着目した官民連携手法

### 【SIBのポイント】

#### 成果発注

- 行政は、達成したい成果（社会課題の解決）を発注。仕様は定めず、具体的なサービス内容は民間事業者に委ねる。
- 民間事業者は、成果達成に資するサービス内容を自ら検討・決定し、実施。

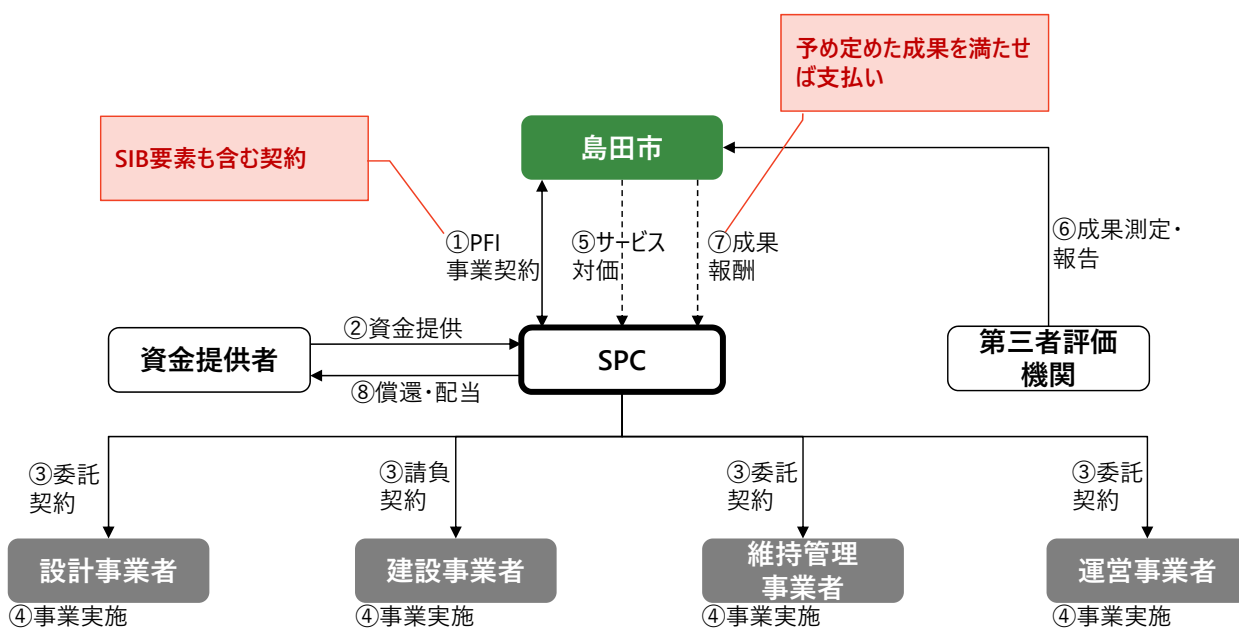
#### 成果報酬

- 行政は、民間事業者の成果の達成度に応じて対価を支払う。
- 行政が達成したい成果、成果の達成度に応じた対価支払額はあらかじめ定める。
- 民間事業者の成果の達成度は、中立的・客観的に測定。（第三者評価機関等を設置）

#### 民間資金活用

- 民間事業者はサービス提供に要する費用を自ら調達。
- 民間資金の導入により、成果マネジメント・モニタリングを実施。
- サービス提供者がより成果にコミットする仕組みとする。

## 2. SIBを導入した際の想定事業スキーム



※第三者評価機関は市が設置する。

※成果未達リスクは、資金提供者が負う場合、SPCが負う場合、両方で負う場合の3通りが想定される。

5

## II. ソーシャル・キャピタルについて

### 1. ソーシャル・キャピタルとは

ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）とは

人々の協調行動を活発にすることによって社会の効率性を改善できる、「信頼」、「規範」、「ネットワーク」といった社会組織の特徴

- ・ 「信頼」「情けは人のためならず」「持ちつ持たれつ」「お互い様」といった互酬性の規範、人やグループ間の絆
- ・ 「結合型（ボンディング型）」（組織内部における人と人との同質的な結びつきで、組織内部での信頼や協力、結束力を生むもの）、「橋渡し型（ブリッジング）」（異なる組織間における異質な人や組織、価値観を結びつけるネットワーク）の2種類に分類。

【ソーシャル・キャピタルの構成要素】

#### つきあい・交流（ネットワーク）

- ・ 近隣でのつきあい  
隣近所とのつきあい
- ・ 社会的な交流  
友人・知人・親戚とのつきあい、スポーツ・趣味・娯楽活動への参加

#### 信頼

- ・ 一般的な信頼  
一般的な人への信頼
- ・ 相互信頼・相互扶助  
近所、友人・知人、親戚等への信頼度

#### 社会参加（互酬性の規範）

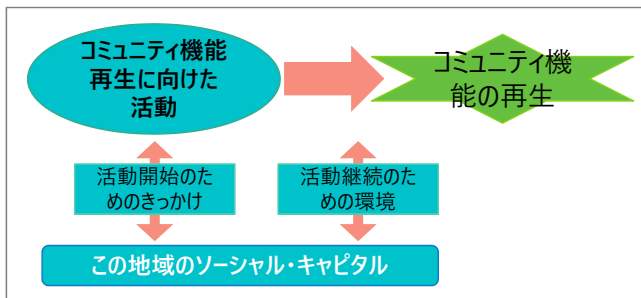
- ・ 社会活動への参加  
地縁的活動、ボランティア活動等への参加

出典：「ソーシャル・キャピタル：豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて」（内閣府）をもとに作成

6

## 2. コミュニティ機能再生とソーシャル・キャピタルの関係

【コミュニティ機能再生とソーシャル・キャピタルの関係】



### ●活動開始のきっかけとSC

(コミュニティ機能再生活動につながる特性の分類)

- 地域に蓄積された潜在的ポテンシャル (地域の歴史、人口等)
- コミュニティを覆い始める危機感 (高齢化、人口流出等)
- 潜在的ポテンシャルが顕在化した過去の地域経験 (紛争事例、イベント等)

▶ 上記特性が地域で共有されることによって活動が始まる。

『共有』=『ソーシャル・キャピタル』

### ●活動継続のための環境とSC

(活動継続の環境要因)

人的資源、活動を支える仕組み、活動拠点の有無、活動資金、豊富な情報、活動主体の能力

▶ 継続要因の多寡はSCが影響を与える。

	きっかけ	活動	成果
SCなし	自分の住むまちが汚い！ ゴミ拾いをはじめよう	個人の可能な範囲で実施	個人の力の範囲でまちはきれいに。 でも全体をきれいにし続けるのは難しい。
SCあり	自分の住むまちが汚い！ ゴミ拾いをはじめよう <b>共有</b>	みんなで実施するために、 ルール、拠点、資金等が 形成 <b>継続の仕組み</b>	みんなの力でまちはきれいに。 さらにきれいが維持。

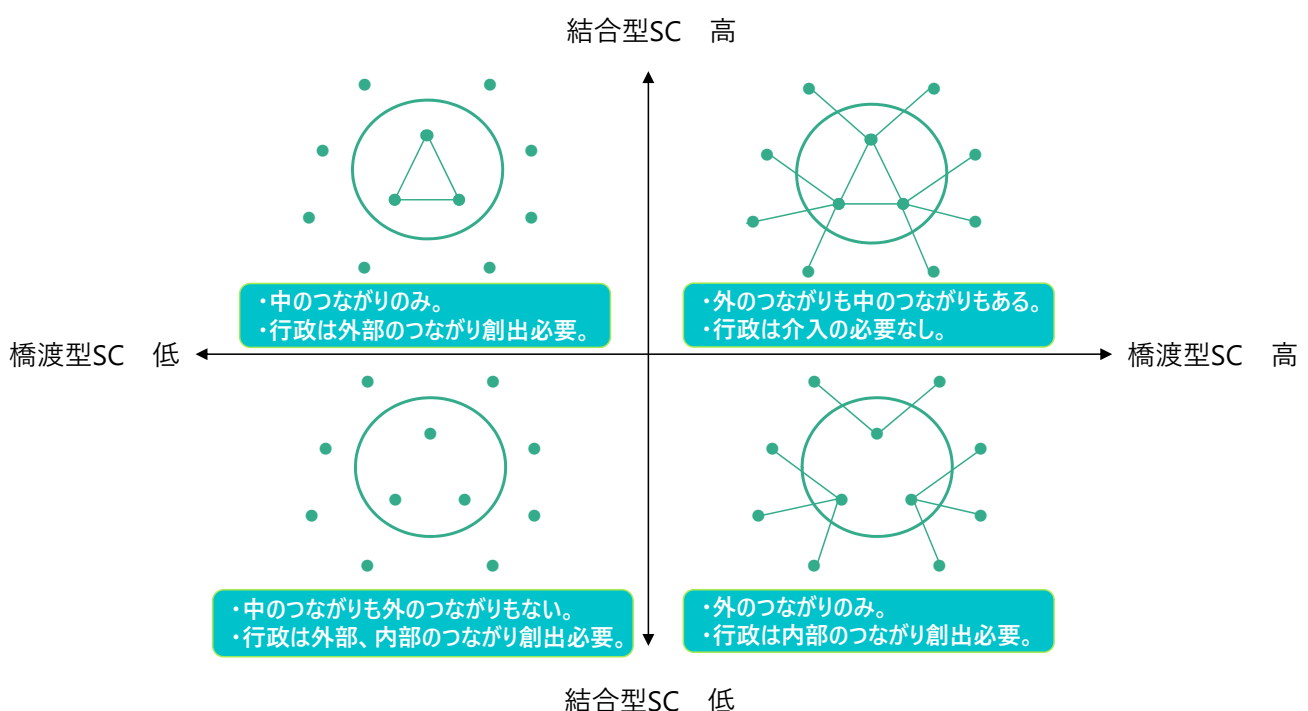
▶ SCによって、コミュニティ機能再生に向けた活動が生まれ、継続される。

SCの醸成、増大によって、コミュニティ機能の再生が実現する。

出典：「コミュニティ機能再生とソーシャル・キャピタルに関する研究調査報告書」(内閣府)をもとに作成

7

## 3. ソーシャル・キャピタルによる地域コミュニティの分類



出典：Yoji Inaba (稲葉陽二)「What's Wrong with Social Capital? Critiques from Social Science」(2013)をもとに作成

8